

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
盛岡市	盛岡市	平成23年度～平成27年度	平成23年度～平成27年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現 状 (平成 年度)	目 標 (平成 年度) A	実 績 (平成 年度) B	実績B /目標A
排出量	事業系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t	%
	家庭系 総排出量	t	t	%
	1 事業所当たりの排出量	kg/人	kg/人	%
	合 計 事業系家庭系総排出量合計	t	t	%
再生利用量	直接資源化量	t	t	%
	総資源化量	t	t	%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh
減量化量	中間処理による減量化量	t	t	%
最終処分量	埋立最終処分量	t	t	%

※目標未達成の指標のみを記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成 21 年度)	目 標 (平成 27 年度) A	実 績 (平成 27 年度) B	実績B /目標A
総人口	—	—	—	—
公共下水道	汚水衛生処理人口	—	—	—
	汚水衛生処理率	—	—	—
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	8,255	9,743	66.2%
	汚水衛生処理率	2.8 %	3.4 %	64.7%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	16,038	15,783	85.9%
	汚水衛生処理率	5.5 %	5.5 %	83.6%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	25,967	17,665	※ ¹ 51.9%

※目標未達成の指標のみを記載。

※¹達成率の算定は実績B/Aではなく、別の算定方法による。

2 目標が達成できなかった要因

経済情勢が悪化したことに伴い、家屋の新築・改築を実施する市民が減少したほか、人口の減少と高齢者独居世帯の増加による汚水処理の重要性に対する理解不足と市民の水洗化意欲の減退が要因と考えられる。

3 目標達成に向けた方策

今後も、地域の特性を十分に踏まえながら、引き続き効率的かつ効果的な生活排水処理施設の整備を図るため、新たに策定した「盛岡市汚水処理基本計画」（公共下水道、農業集落排水及び浄化槽の3事業を一元化）に基づき、平成28年度から浄化槽整備事業は、浄化槽市町村整備推進事業（市町村設置型）から浄化槽設置整備事業（個人設置型）への一本化を行い、補助額を嵩上げ実施（現行の基準額の4割から最大で7割程度）するとともに、より効果的な広報・啓蒙活動を実施し、公共用水域の保全と市民の生活環境向上に向け、循環型社会形成推進交付金を活用した浄化槽設置整備事業を推進することとしたい。

（都道府県知事の所見）

合併浄化槽の普及実績については、経済情勢悪化等により平成27年度目標値を若干ながら下回ったものの汚水処理人口普及率は着実に増加している。よって本計画による施策が浄化槽の普及促進に寄与したことが認められる。

盛岡市では既に新規計画（平成28年度～平成32年度）を策定したところであり、今後も引き続き循環型社会形成推進交付金等を活用しながら浄化槽の更なる普及に努められたい。

県においても、その手法等必要に応じて支援していくこととしたい。